

試行的排出量取引制度に係る廃棄物業者等への調査 (参加の阻害要因、促進施策等に関するヒアリング調査結果の概要)

1. 調査実施の目的

現在、廃棄物・リサイクル関連の2社が、試行的国内排出量取引制度に参加しているが、より広範な参加が進まない阻害要因や参加を促進するための方策について、廃棄物業者へのヒアリングを通じて整理する。

具体的には、試行的国内排出量取引制度に参加済みの企業や国内クレジット制度やカーボンオフセットの取組実績を有する企業、または試行的排出量取引制度やJ-VER等の経済的インセンティブの活用に関心を有する廃棄物業者等を対象にヒアリング調査を実施した。

2. 調査対象の廃棄物処理事業者

今回のヒアリング調査対象の廃棄物業者の概要を下表に概括する。

温室効果ガス排出削減への取組みを展開している廃棄物業者等を中心に5社を抽出し、ヒアリング調査を実施した。

表 ヒアリング調査対象の廃棄物処理事業者等の概要

	企業の概要・特色	CO2 排出量取引制度等の取組実績等
A社	<ul style="list-style-type: none"> 中堅の廃棄物業者、国内で実質的に唯一の試行的国内排出量取引制度への参加企業であり、全国産業廃棄物処理連合会などの業界団体との連携で、温室効果ガス排出削減への取組みを積極的に展開している企業。 	<ul style="list-style-type: none"> 試行的国内排出量取引制度への参加企業
B社	<ul style="list-style-type: none"> 大手の廃棄物業者、多くの種類の廃棄物の再資源化で実績を有する企業、産業廃棄物業者として初の「国内クレジット制度」の承認を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内クレジット制度への参加企業
C社	<ul style="list-style-type: none"> 中堅の廃棄物業者、ISO取得、収集運搬の省エネ、カーボンオフセットなどをはじめとして、自社のCO2削減に積極的な取組みを展開している企業。 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンオフセットの実績を有する企業
D社	<ul style="list-style-type: none"> 大手の廃棄物業者や商社が連携して大型の食品廃棄物のバイオガス発電事業会社を設立。食品廃棄物をメタン発酵させ、発生したバイオガスを燃料として発電し、バイオマス発電によりRPS制度により売電を行っている企業。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済的インセンティブの活用に関心有り
E社	<ul style="list-style-type: none"> 大手ゼネコン、有機系廃棄物、下水汚泥などのバイオマスの有効利用システムの構築に実績を有する企業であり、下水汚泥関連での経済的インセンティブの活用に関心を有している。 	

3. 試行的国内排出量取引制度への参加の阻害要因及び参加促進方策

前述の廃棄物業者を対象としたヒアリング調査から試行的国内排出量取引制度への参加に係る阻害要因と参加を促進するための方策について得られた示唆を以下に概括した。

分析にあたっては、

試行的排出量取引制度への参加に向けた基盤となる取組

試行的排出量取引制度の対象枠の拡大

試行的排出量取引制度の認知向上・普及啓発

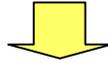
の観点からの整理を試み、その課題と対応の方向性を以下に概括する。

試行的排出量取引制度への参加に向けた基盤となる取組

試行的排出量取引制度に限らず、国内クレジット制度やカーボンオフセットに参加している企業では、当該制度の活用（参加）にあたって一定の取組実績を有しており、既存の取組を基盤としてその延長線上の取組として経済的メカニズムの活用の対応を図っており、それが実質的な参加要件となっている。具体的には、排出量取引制度等を活用する企業の多くは、既に自社事業の取組みのなかで、CSR活動の実施、自主的な排出削減目標の設定、ISO14001（環境マネジメントシステム）取得、収集運搬の効率化、機器類の省エネ運転などの関連する取組みを実施し、企業活動のなかで温室効果ガス（GHG）の削減を常に意識した活動を展開しさらなる上乘せした展開あるいは社会的に表現する手段として排出量取引制度の活用を試行的に実施している特徴が見られる。加えて、各種経済的インセンティブへの参画にはコスト負担が足かせとなっている点についても指摘もなされている。

< ヒアリング対象企業からの指摘例 >

- ・ 排出量取引制度などの活用は一朝一夕でできるものではなく、それまでの自主的な GHG 削減への取組みを出来る限り実施したうえで、試行的排出量取引制度へ参加している。
- ・ 当社としては、「温暖化対策を熱心にやっています」と表現するだけでなく、客観的な取組の指標に基づいて評価されるものが欲しかったので試行的排出量取引制度に参加した。
- ・ GHG の排出量を削減することを意図して取り組んだのではない。省エネに取り組んでいて、その延長線上で国内クレジットにのりそうであったので取り組んだ。
- ・ 社内の環境方針の策定をはじめとして、ISO14001 の取得、各種の省エネや収集運搬のエコドライブなどの温暖化対策の取組みを積み重ねてきた経緯があり、さらなる CO2 削減の取組みとしてこのカーボンオフセット事業に取り組んでいる。
- ・ 当社は全て廃棄物燃料で焼却炉を運転している。購入エネルギーはない。収集運搬、オフィスでの使用量は毎年記録している。削減しようとしているのではなく、客観的なエネルギー使用量を把握するために行っている。そこから見えてくるものがあるだろう。
- ・ 当社は GHG 削減に関して自社の取組がどのくらい役立っているか、社会的に表現、PR できるだけでもよい。
- ・ 各種経済的メカニズムに係る制度への参加はコスト負担と連動する。モニタリングや認証手続き等に係るコスト負担の低減も制度への普及には重要な事項として認識している。



< 対応の方向性・制度の拡大普及に向けたヒント >

- 温暖化対策に資する取組が、試行的排出量取引制度に参加する基盤となると考えられることから、廃棄物業者による省エネ等が促進される普及啓発、グッドプラクティス（優良事例）の紹介等の施策の検討が考えられる。
- 試行的排出量取引制度への参加に係るコスト負担軽減（モニタリング・認証等）に係る措置についての対応が考えられる。

試行的排出量取引制度の対象枠の拡大

試行的排出量取引制度への参加への阻害要因として、一部の企業からは、その対象の枠組みが限定されている指摘がなされた。同様に、実際に参加している企業からも、現行制度の枠組みが限定されている面や可能な取組の範囲の拡大についての指摘がなされている。

< ヒアリング対象企業からの指摘例 >

- ・ 試行的排出量取引制度で廃棄物業者ができることは、取組が限られているのが現状（最終処分場からのメタン排出抑制、焼却施設からの CO₂、メタン、N₂O 排出抑制、収集運搬からの CO₂ 排出削減のみ）である。
- ・ フロンは温暖化係数が大きいので破壊処理には効果があるが、これも試行的取引制度の下で可能となる取組メニューの中に入っていない。また、RPFの燃料を供給して製紙メーカーの温暖化対策に貢献しているが、それも自社の取組としては考慮されていない。
- ・ 廃油を用いて焼却炉の助燃剤の使用量を削減しているが、試行的排出量取引制度においては、考慮されていない。
- ・ 試行的排出量取引制度の中で取り組むことができるメニューを増やすことが必要ではないか。
- ・ 焼却炉燃料の都市ガス転換、車両の BDF 化があるだろうが、メニューとしてはそれ以上のものはあまりない。J-VER にのせられるのであれば検討はしたい。
- ・ RPF が CDM の方法論にあると聞いたが J-VER でも方法論が確立されるとよい。



< 対応の方向性・制度の拡大普及に向けたヒント >

- 試行的排出量取引制度にて廃棄物業者が取り組むことができるメニューが拡大されれば、参加がより促進されるとの指摘がなされていることから、その可能性や課題について整理する。
- 現行の試行的排出量取引制度において廃棄物業者が取り組むことができるメニューについてより一層の啓発を図る。

試行的排出量取引制度の認知度向上・普及啓発について

試行的排出取引制度については、一部の企業からは、制度そのものの認知度、制度の仕組みの分かりづらさを指摘する意見も出されている。制度への参加を促進する方策として、制度の認知度向上と制度の分かりやすさは重要な点であると認識できる。

< ヒアリング対象企業からの指摘例 >

- ・ 試行的排出取引制度は認知度が低く、また、制度が複雑でわかりにくい。実態として、排出事業者も同様に認知度が低い。
- ・ 制度へ参加した場合、シンボリックなマーク認証などがあると顧客へのアピールになるカーボンオフセットを選択した理由として、顧客に対してインセンティブにつながる取組の説明のし易さ、わかりやすさ、国連が認証している排出枠といったアピール性も大きい。



< 対応の方向性・制度の拡大普及に向けたヒント >

- 制度の普及啓発や PR の更なる促進が考えられる。
- 制度の仕組みや運用面のルールのかみ細かな対応、わかりやすい制度設計の見直しが求められる。
- 廃棄物業者を対象にした説明会の開催、相談窓口の設置などが考えられる。